

令和5年度江東区障害福祉 サービス事業者等集団指導

業務継続計画の策定と 江東区の防災対策について

江東区障害福祉部障害者施策課
指導検査係

1



目次

- ▶ 障害福祉サービス事業所等の事業継続計画（BCP）策定義務化について
- ▶ BCP策定ガイドライン・研修動画について
- ▶ 東京都のBCP研修について
- ▶ 江東区の防災対策について（防災課による防災講話）



障害福祉サービス事業所等の事業継続計画 (BCP) 策定義務化について

令和3年度の報酬改定（省令改正）により、以下が義務付けられました。

- ▶ すべての障害福祉サービス事業所等を対象として
- ▶ **令和5年度（令和6年3月31日）までに**
- ▶ **感染症や非常災害**に関する業務継続計画（BCP）の**策定**
- ▶ BCPについて従業者に周知するとともに、研修及び訓練の定期的（年1回以上）の実施
- ▶ 定期的なBCPの見直しを行い、必要に応じて変更すること。



障害福祉サービス事業所等の事業継続計画 (BCP) 策定義務化について (続き)

- ▶ BCP策定、研修及び訓練について他のサービス事業者との連携等により行うことも差し支えない。
- ▶ 研修及び訓練の実施にあたっては、全ての従業者が参加できることが望ましい。
- ▶ 定期的な教育を開催するとともに、新規採用時には別に研修を実施することが望ましい。
- ▶ 感染症の業務継続に係る研修及び訓練については、感染症の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練と一体的に実施することも差し支えない。
- ▶ 訓練は机上を含めその実施手法は問わないものの、机上及び実地で実施するものを適切に組み合わせながら実施することが適切である。



厚生労働省のBCP策定ガイドライン・研修動画について

- ▶ 事業所のBCP策定の手助けとして、厚生労働省により、策定ガイドラインとBCPひな形、研修動画が公開されています。
- ▶ 感染症対策（研修動画・ガイドライン等）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00003.html



- ▶ 非常災害（ガイドライン）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_17517.html



- ▶ 非常災害（研修動画）

<https://www.smartstream.jp/msad/mhlw/index.html>



江東区の災害と 防災対策について



江東区 総務部 危機管理室 防災課



本日まで説明する内容

1. 江東区の地域特性
2. 想定される主な災害
3. 江東区の防災対策
(災害情報伝達体制)



1. 江東区の地域特性

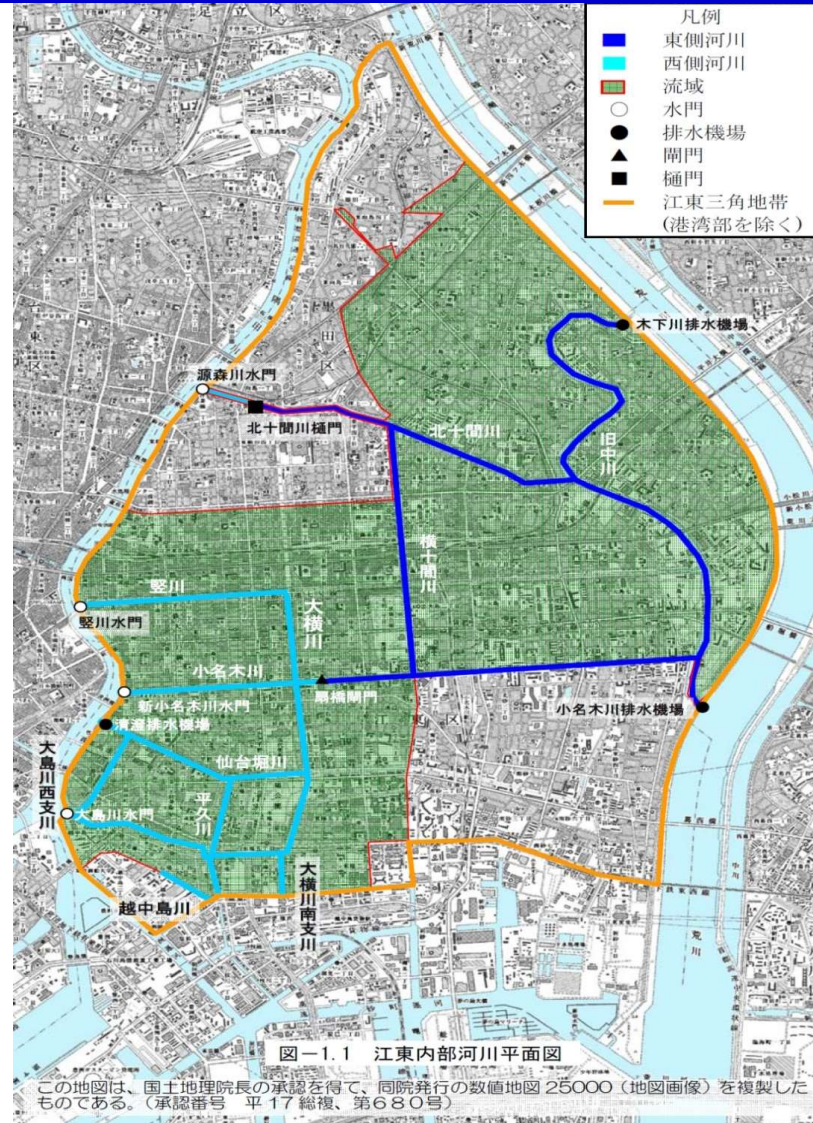


1. 江東区の地域特性 ～地勢～

江東区の地勢

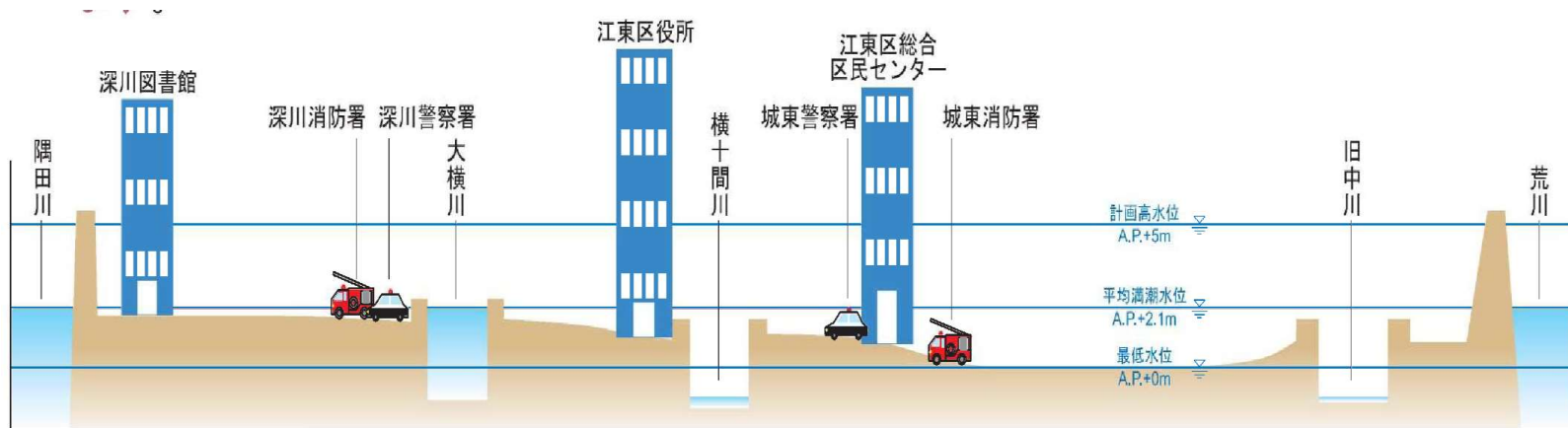
- 江東デルタ地帯
⇒ **軟弱地盤**（沖積層）
- 海拔ゼロメートルの**低地帯**が多い
- 内部河川が多い

災害に弱い地域！



1. 江東区の地域特性 ～断面図～

江東区の東西断面図



※施設の位置などはイメージです。

東部地域はかつて大規模工場地帯であった

⇒地下水等のくみ上げによる地盤沈下

⇒**東部のほうが地盤高が低い**



2 . 想定される主な災害



2. 想定される主な災害

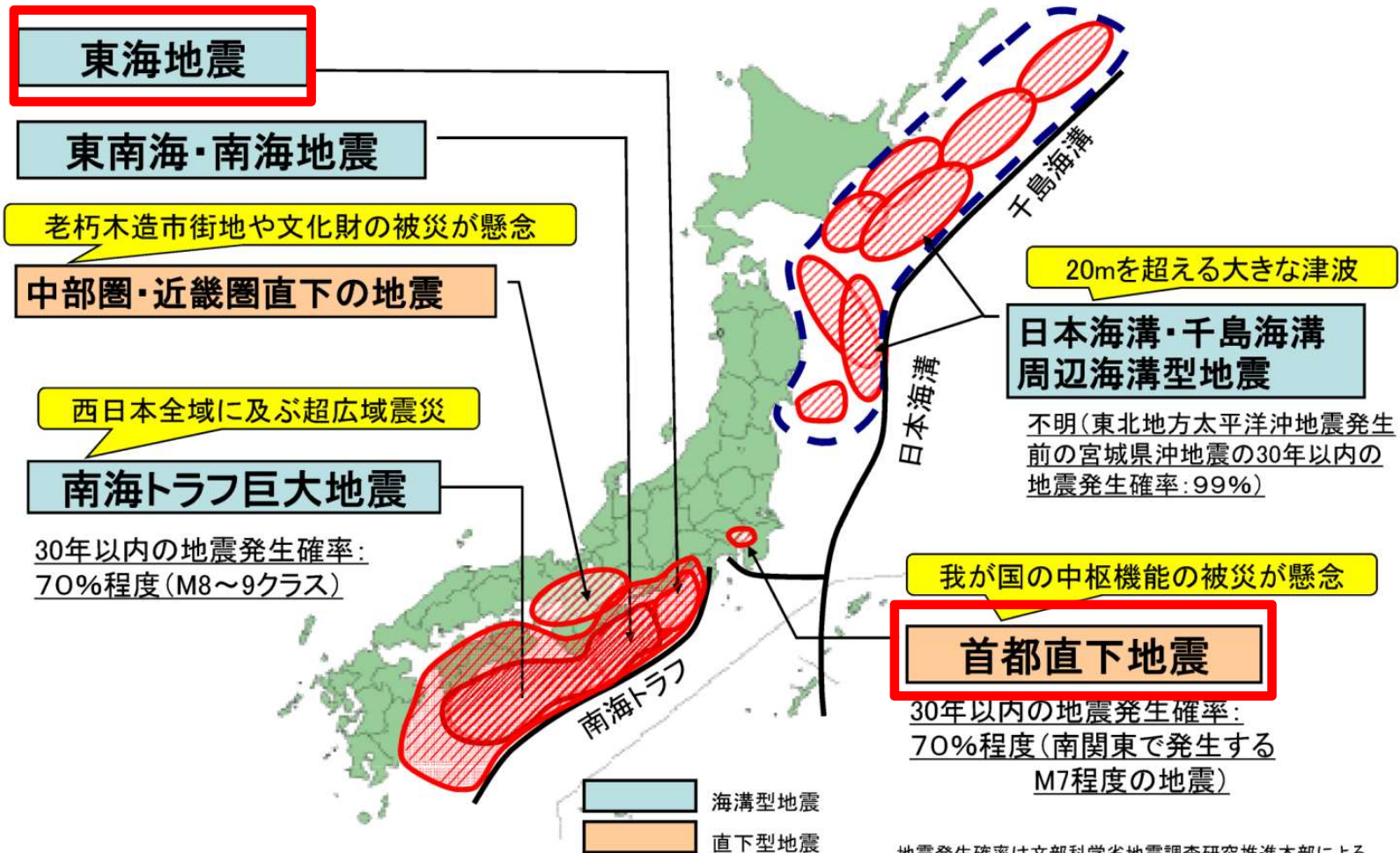
○震災

- ・東海地震 (M8.0)
- ・首都直下地震 (M7.3)

○水害

- ・荒川の氾濫
- ・高潮
- ・大雨による浸水

2. 想定される主な災害 ～震災～



地震発生確率は文部科学省地震調査研究推進本部による
(2014年1月1日現在)

2. 想定される主な災害 ～震災～

① 東海地震（南海トラフの一部）

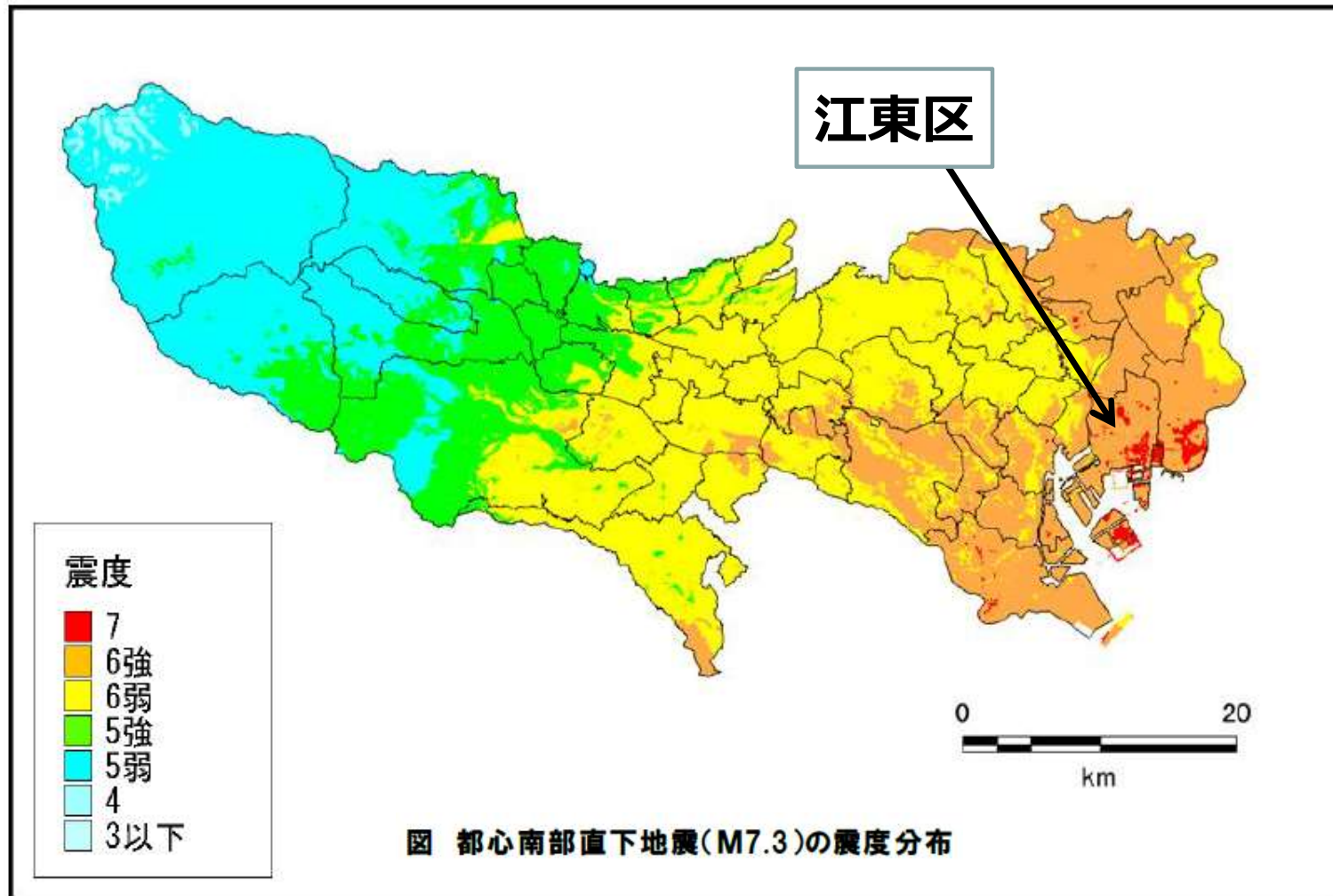
- 30年以内に88%の確率で発生するといわれている
- M8.0 江東区の想定震度：5強
- 特徴：長く続く振動（1分以上）

② 首都直下地震（都心南部直下地震）

- 30年以内に70%の確率で発生するといわれている
- M7.3 江東区の想定震度：6強（84.4%）、7（13.7%）
- 特徴：いきなり激しい振動（10～20秒程度）



2. 想定される主な災害 ～震度分布図～



2. 想定される主な災害 ～震災の被害想定～

<都心南部直下地震による被害の概要（江東区）>

項目	想定値
規模	マグニチュード7.3
震度	震度6強（84.4%）、震度7（13.7%）など
建物全壊	9,700棟（うち火災 3,100棟）
死者	401人（うち建物倒壊 298人 ≒ 74%）
負傷者 （うち重傷者）	8,091人（うち建物倒壊 7,010人 ≒ 87%） （1,244人）

⇒ 建物の耐震化と家具転倒防止が生命・身体を守る最も有効な手段



2. 想定される主な災害 ～震災時のライフライン～

<ライフライン被害と復旧期間（江東区）>

項目	被害想定	復旧日数（目安） ※東京都全体が復旧に要する日数
電気 （停電率）	38.6%	4日
電話 （不通率）	7.3%	4日
上水道 （断水率）	52.4%	17日
下水道 （管きよ被害率）	6.6%	確認中
ガス （供給停止率）	100.0%	6週間

多くの地域で断水、ガス供給停止⇒水、カセットコンロ等の備蓄



2. 想定される主な災害 ～津波～

東京湾における津波

<東京湾の特徴>

- 湾の形が袋状
- 内湾部の平均水深15m（浅い）
- 歴史上も大きな津波被害は無い
- 伊勢湾台風級の高潮に備えた「外郭防潮堤」を整備

(江東区部の堤防高はT.P. 4.46～6.86m)

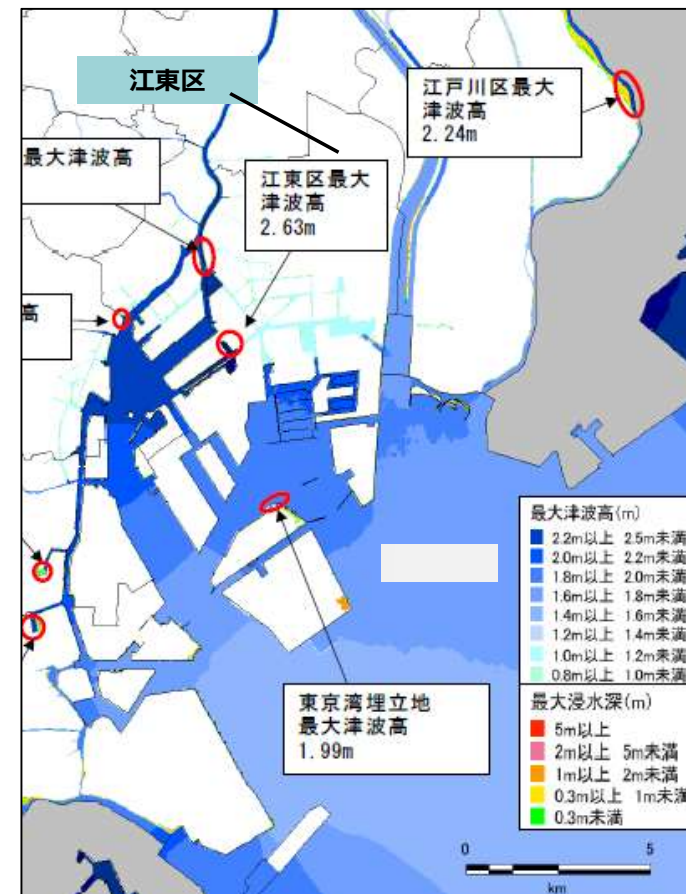
<想定津波高（江東区）>

想定地震	津波高（満潮時）
元禄型関東地震	T.P. 2.55m
南海トラフ巨大地震	T.P. 2.63m

※ T.P.：東京湾平均海面（≒海拔）

※ 津波対策はより被害の大きい海溝型地震の南海トラフ巨大地震を想定

➤最大の津波高であっても河川敷は浸水するが、住宅地等は浸水しない想定

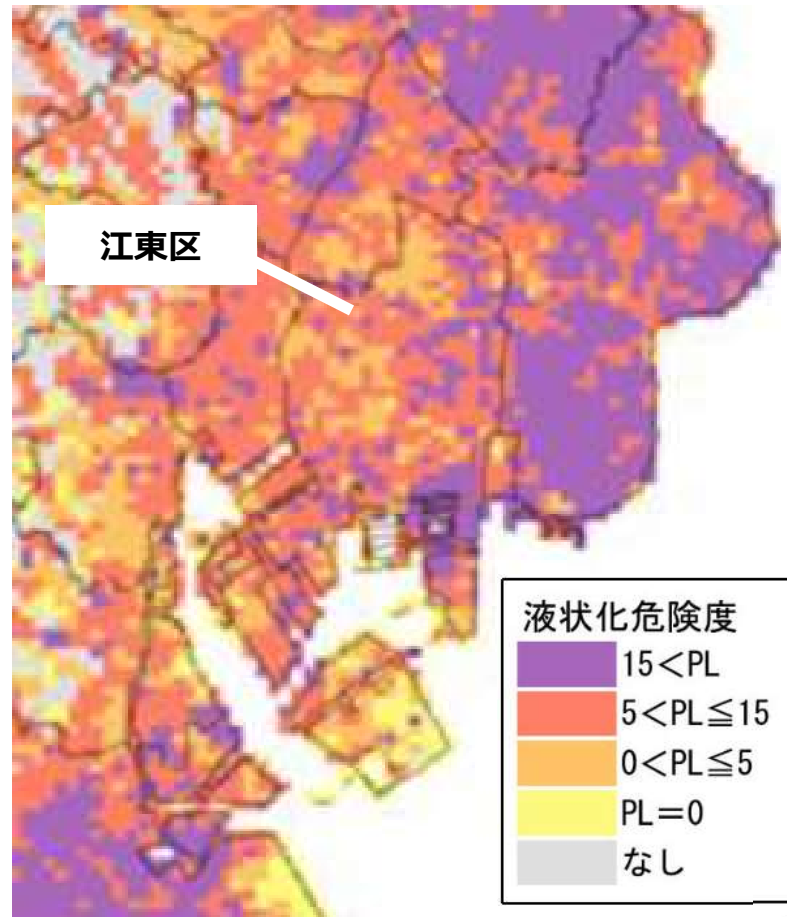


2. 想定される主な災害 ～液状化～

液状化被害

- 区内の大半で液状化が発生する可能性がある
- 東日本大震災（※）でも、区内（新木場地区など）で液状化被害が確認された

※ 区内の最大震度は5強

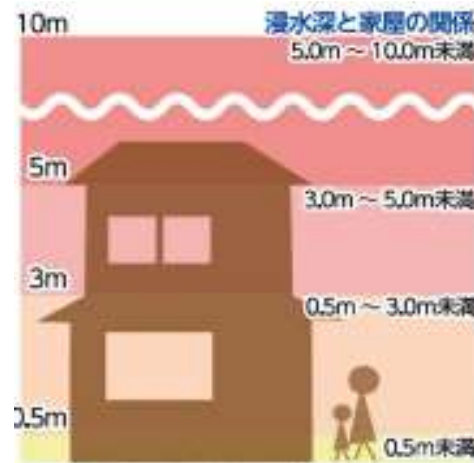


2. 想定される主な水害 ～洪水（荒川氾濫）～

＜江東区洪水ハザードマップ＞

- 巨大台風等による大雨で荒川の水位が上昇し、堤防を越えて水が流れ出す。
- 避難までの時間的余裕がある場合は、南部の避難地区又は区外の高台に避難する⇒ 水平避難
- 避難までの時間的余裕が無い場合は、**自宅や周辺の建物（公共施設など）の3階以上**に避難する⇒ 垂直避難

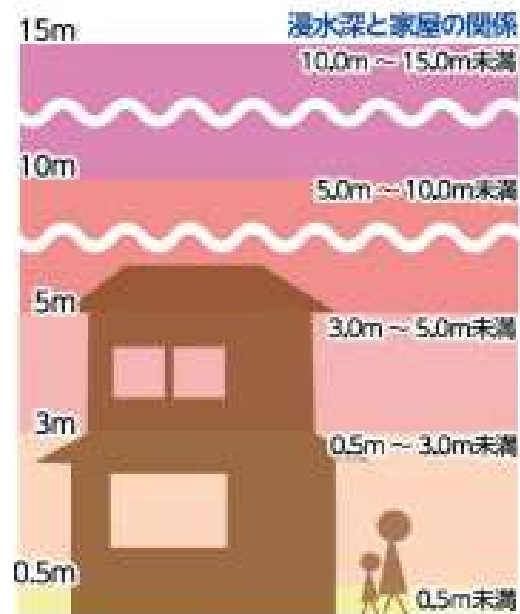
浸水期間は**2週間以上**になる可能性



2. 想定される主な災害 ～高潮～

<江東区高潮ハザードマップ>

- H30年3月に東京都港湾局が発表
- 室戸台風級（昭和9年910hpa）が最悪のコースで到来

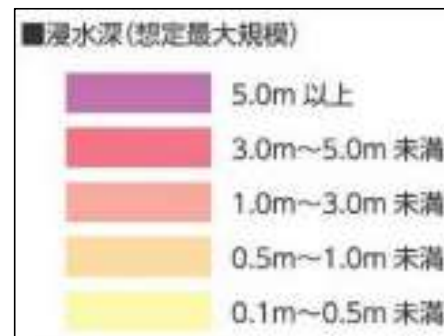


2. 想定される主な災害 ～大雨浸水～

大雨による浸水

〈江東区大雨浸水ハザードマップ〉

- 隅田川・江東内部河川流域に下水施設の処理能力を超える大雨が降った場合
- 想定最大規模降雨
総雨量690mm
時間最大雨量153mm
- 自宅や周辺の建物（公共施設など）の3階以上に避難する
⇒ **垂直避難**



3. 江東区の防災対策 (災害情報伝達体制)



3. 江東区の防災対策（災害情報伝達体制）

<区から発信する主な緊急情報と情報伝達手段>

情報の種類	情報伝達手段・発信基準			放送・配信内容
	防災無線放送	緊急速報メール	こうとう安全 安心メール	
避難情報	○	○	○	避難指示等が発令されたこと
震度情報	震度5強以上	×	震度4以上	強い揺れがあったこと
緊急地震速報(※)	震度5強以上	震度4以上	×	強い揺れが起こる可能性があること
津波情報	大津波警報	津波警報 大津波警報	津波注意報 津波警報 大津波警報	津波到来のおそれがあること
気象情報	特別警報	特別警報	気象警報、特別警報、 荒川洪水予報、竜巻注意情報、 記録的短時間大雨情報、各種 情報（災害時の生活情報等）	気象情報の発表があったこと

※ 直下型の地震など震源が近い場合には、地震到達までに情報が間に合わないことがあります。



3. 江東区の防災対策（災害情報伝達体制）

① 防災行政無線スピーカー

- 防災無線放送や同報無線と言われ、小中学校や公園などに子局スピーカーが設置されている（約150箇所）
- 点検放送として毎日夕方にチャイムを放送している



② 緊急速報メール

- 通信混雑の影響を受けずに区や気象庁から文字情報を携帯電話で受信できる（例：緊急地震速報）
- 江東区向けの情報を受信するためには、江東区内に滞在している必要がある

※ サービス名称：「エリアメール」（NTTドコモ） 「緊急速報メール」（KDDI・ソフトバンクモバイル）



3. 江東区の防災対策（災害情報伝達体制）

③ こうとう安全安心メール

- 自身のメールアドレスを登録することで、区から災害情報を受信することができる
- 区内の震度情報（震度4以上）、避難勧告等の発令情報、気象警報の発表情報、防災無線の放送内容などを配信
- 震度情報・気象警報など、一部の情報は24時間自動配信

<登録方法>

1. anshin.koto-city@raiden.ktaiwork.jpに空メールを送信
 2. 登録確認メールが届いたら、メール内容完了用URLにアクセスし、受信したい項目を選択
- ※ 迷惑メール設定などを行っている場合は、koto-anzen@city.koto.lg.jpを受信可能に設定してください。



こうとう安全安心メール
登録用二次元コード

※ こうとう安全安心メールでは、区内の犯罪発生情報などの「防犯情報」も配信しています。



3. 江東区の防災対策（災害情報伝達体制）

④江東区防災マップアプリ

- 江東区防災マップや各種ハザードマップを確認できる
- 避難所の開設状況の確認や、避難所までの経路案内
【こうとう安全安心メールとの機能連携】
- 区内の震度情報（震度4以上）、避難勧告等の発令情報、
気象警報の発表情報、防災無線の放送内容などを配信
- 震度情報・気象警報など、一部の情報は24時間自動配信

江東区防災マップアプリ
登録用二次元コード



iPhone



Android



3. 江東区の防災対策（災害情報伝達体制）

⑤ 江東区防災関連ツイッター

- 災害時に各種緊急情報をツイートする
- 通常時は防災の広報ツールとして運用（月に3回程度ツイート）
- 区公式ホームページでも閲覧可能

<アカウント>

@koto_bosai（江東区防災関連情報）

※ その他の公的機関（例：東京都）やライフライン事業者、鉄道事業者などのアカウントをフォローしておくことも有用です。

⑥ 江東区フェイスブック

<アカウント>

@city_koto



3. 江東区の防災対策（災害情報伝達体制）

⑦ケーブルテレビ（11ch）

⑧レインボータウンFM（88.5MHz）

- 区からの要請に基づき、東京ベイネットワーク(株)、レインボータウンエフエム放送(株)が災害に関する放送を実施



停電時にも使える防災備蓄用ラジオの活用



3. 江東区の防災対策（災害情報伝達体制）

⑨ 各種防災関係ホームページ

■ : 全般 ◆ : 雨量・河川

- 防災情報 江東区 <https://www.city.koto.lg.jp/bosai-top/index.html>
- 東京都防災ホームページ <http://www.bousai.metro.tokyo.jp/>
- 内閣府 防災情報のページ <http://www.bousai.go.jp/>
- 防災・危機管理 e-カレッジ <http://open.fdma.go.jp/e-college/>
(総務省 消防庁)
- ◆ 東京アメッシュ <http://tokyo-ame.jwa.or.jp/>
- ◆ 川の防災情報（国土交通省） <http://www.river.go.jp/>
- ◆ 水防災総合情報システム（東京都）
<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/im/uryosii/tsim0102g.html>
- ◆ 荒川下流河川事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/index.html>



ご清聴ありがとうございました



江東区

